

2025 年度
12 月園だより

すみれ保育園



寒さが増し紅葉が見ごろを迎えています。さんぽ先や園庭で見つけた赤や黄の色付いた葉っぱを見せてくれたり、どんぐりを大事そうにポケットに入れていたり、こどもたちと秋の発見をしながら秋に触れることが楽しく癒されます。

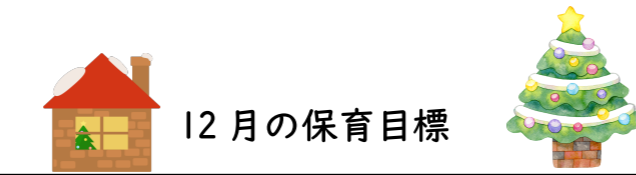
11 月に開催された福祉まつりへでは、参加協力券の購入、バザーの物品提供、バザーと模擬店のお手伝い、親と子のひろばのお手伝いでは保護者の方の協力をいただきました。芝生ステージでは 4.5 歳児が歌の披露で盛り上げてくれました。バザー・模擬店の売り上げは 125,609 円でした。子どもたちのためになるよう保育園の環境整備に使わせていただきます。ご参加、ご協力ありがとうございました。

12 月は 4.5 歳児生活発表会やクリスマス会など楽しい取り組みがあり、子どもたちの心に残る行事にしていきたいと思います。

～友だちと協力してカプラを高く積みぞ～
「どうやったら高くなる?」「こうやって積んだほうがいいねんで」「あ～倒れそう…」
「下おさえとくわ」と言いながら、負けないぞ～と競うことも楽しく、高く積みぞ～と友だちと協力しています。



4 歳児



- 12 月の保育目標
- ・うがい、手洗いをを行い冬の健康に気をつけよう
 - ・色々なごっこあそびを楽しもう
 - ・一年の終わり、始まりについて関心を持とう

お知らせとおねがい

- 年末年始の保育について
- 協力日 12 月 27 日（土）
休園日 12 月 29 日（月）～ 1 月 3 日（土）
- ・協力日は保護者の方どちらかお仕事が休みの場合、家庭保育のご協力をお願いします。土曜保育を申請されている方は、12/4(木)までに 12 月土曜日の保育の有無についてキッズビューに回答をお願いします。
 - ・休みに入る前に衣類や布団など持ち帰りください。

- 冬場 2～5 歳児の上靴について
- ・冬場は、2～5 歳児は上靴を履いて過ごします。靴箱上段に置きますので、ミサトっ子ぞうりなどは持ち帰りください。
 - ・2 歳児は靴箱ではなく保育室に置きます。
 - ・上靴は毎日履きますので週末に持ち帰り、洗って週明けにお持ちください。
- サイズ確認をお願いします。

- 1 月の行事について
- ・1 月 14 日(水)雪あそび遠足（5 歳児）
- その他
- 3 歳遠足代を今月の諸費で引き落としします。請求書にてご確認よろしくをお願いします。



今月の行事予定

日	曜日	行事予定
1	月	
2	火	
3	水	避難訓練
4	木	
5	金	4.5 歳みあいっこ
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	ぷちアイアイ・ふれアイらんど
10	水	
11	木	お弁当箱の日
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	
17	水	誕生お祝いメニューの日
18	木	4.5 歳児生活発表会ビデオ撮り
19	金	
20	土	4.5 歳児クラス生活発表会
21	日	
22	月	
23	火	
24	水	クリスマス会
25	木	よっといで広場（子育て支援）
26	金	
27	土	保育協力日
28	日	
29	月	休園
30	火	休園
31	水	休園



早いもので今年も残す所わずかになりました。朝晩の冷え込みが厳しくなる一方で、今年は日によって寒暖差が大きく体調を崩しやすい気候が続いています。今月は生活発表会、クリスマス会など楽しいイベントが待っています。気温が下がり、空気が乾燥するとウイルス感染症が流行しやすくなります。衣類の調節や手洗い・うがい、加湿を心がけて体調管理に気をつけましょう。

インフルエンザが はやってます！

くしゃみ、せきなどの症状のほかに、高熱と頭痛が急激に現れたら、インフルエンザかもしれません。潜伏期間が 1～3 日と短く、感染力が強いので注意が必要です。早めの受診を！
医療機関での検査は、15 分程度で診断がつきます。
ただし、一般的には発熱後 8 時間以上たっていないと、検査をしても正確な結果が出ません。

突然の高熱
(38℃以上)

症状

頭痛

のどの痛み

関節痛
筋肉痛

激しいせき

鼻水

おう吐

予防のために

- なるべく人混みを避ける
- 部屋の湿度は 50～60%くらいに。こまめな換気を心がける
- 十分な睡眠、休養をとる
- バランスのよい食事、十分な水分補給を
- 予防接種を毎年 2 回すること (13 歳未満)

☆看護師より☆
後期内科検診の結果を記入した“けんこうのきろく”を配布、配信しています。返却がまだの方は確認後サインまたは捺印を押して事務所まで返却をお願いいたします。ワクチン接種の有無も記入してください。

先月からインフルエンザ A 型の流行が後を絶ちません。コロナ感染も同時感染するかもと世間でも懸念されています。長い残暑や寒暖差の激しい今年は、免疫力が低下し体調も崩しやすいため、十分な睡眠・休息・栄養を心がけましょう。また、温かい飲食物の摂取や、湯舟につかるなど、身体を芯からしっかり温めて感染症が増える冬場を乗り越えたいですね。

何かご不明な点がありましたら遠慮なく園までご相談ください。